2020年度京都府理学療法士会 定時総会議事録

日時 2021年6月27日(日) 14:00～15:30

場所 京都府理学療法士会事務所、Zoom ミーティングルーム

会場参加：麻田、苅谷、中本、関、小寺、南角、東、村上

Web参加：理事・監事・一般会員

司会進行：苅谷 康之事務局長

議長：村上 貴士

書記：東 佐登美

はじめに：苅谷事務局長より開会宣言

*昨年9月にご逝去された元会長渡辺隆先生への黙祷

*日本理学療法士協会 斎藤秀之新会長よりご挨拶

*門川大作京都市長より祝電の披露

●2020年度士会会長賞表彰について

今年度においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面では行わず、表彰状の送付をもって表彰とさせていただきます。

本年度対象3名(中本表彰委員長より氏名、所属の読み上げ)

池田 弘毅先生(宇治徳洲会病院)・中西 康二先生(京丹後市立弥栄病院)・山中 大輝先生(かなえるリハビリ訪問看護ステーション都)

●議長、書記の選出

議長選出：村上 貴士氏(京都博愛会病院)

書記選出：東 佐登美氏(介護老人保健施設紫雲苑)

●定足数確認(苅谷事務局長より)

総会員数 2,905名(2021年6月27日現在)

総会員の議決権の数 2,905

出席会員数(Web含め)39名、委任状 1,882名、合計 1,921名(過半数:1,453名)

以上の通り総会成立の必要数を満たす

議長の成立宣言により議事に入る

第一号議案 2020年度事業報告審議

会長総括

年度当初より新型コロナウイルス感染症拡大によって、非常事態宣言下でのスタートとなり、すべての研修会、学会等がWeb開催を余儀なくされ、リモート対応が慣れないなか

で、参加者が少ないという現状があった。また、50周年記念式典の延期も余儀なくされたことも残念であった。しかし、そのようななか、元理事の大城春美先生が第49回読売新聞社主催の医療功労賞を受賞されたことが明るいニュースであった。

*事務局：(苅谷事務局長より) 総務部、財務部、広報部 各部の報告

*社会局：(江平理事より) 保険部、職能部、公益事業部、災害対策部、

*地域局：(田後理事より) ブロック化事業広報の土台作りを主とした活動内容の報告

*学術局：(堀江理事より) 生涯学習部、新人教育部、新人発表部、学会部、会誌編集部、その他(理学療法士講習会等)の報告

*委員会報告：(中本理事より) 表彰審査委員会、選挙管理委員会、認知症対策委員会、地域包括ケア委員会、スポーツ委員会、エスカレーターマナーアップ推進委員会、50周年記念事業委員会

*その他事業報告：(苅谷事務局長より) 京都府リハビリテーション就業フェア実行委員会(麻田会長より) 京都府リハビリテーション三療法士会協議会

第二号議案 2020年度決算報告

南角財務担当理事より、資料P.10を参照にて報告、P.12を参照にて特別会計報告

監査報告

伊藤監事より監査報告(P.13参照)

※ 一号議案、二号議案より質疑

山元先生(京都府リハビリテーション北部支援センター)より

⇒今までとは違う形で研修会、学会が参加費無料で開催されている。多くの方に学びの場があるのは嬉しいことであるが、会費を負担している会員へのメリットはあるのかどうかと、若いセラピストからの声が多くあるように感じる。職能団体としてのメリットはあると思うが、そのような説明の発信、広報をされているのかどうか。また、職能団体としての活動を積極的にされているのか?また今後検討されているのかどうか、聞かせていただきたい。

麻田会長より回答

⇒“士会員であることのメリット”は、永遠の課題である。基本的に2つの分野に分かれる。それは社会的な分野と学術的な分野である。社会的な分野としては、社会事業、行政、地域とのかかわりがあり、情報の共有が必須となっている。

学術的な分野として、教育システムについて、新人教育プログラムが105単位となり、登録理学療法士が診療報酬に係る制度、システムが必要となってくる。時間はかかるが、取り組んでいかなければならない。これらを医師関連が多くいる中での重要性を連続的にアピールする重要性。京都市や京都府の会議の中でも理学療法士を重宝していただけるよ

う継続したアピールを重要と考えている。

会員と会員外の差別化に関しては、経費がかかるが、困難さを克服する必要がある。協会の中でも協会員がメリットをいかに感じていただけるか、目に見えるようなメリットも前向きに考えている。また、ご意見をいただきたい。

山元先生より

⇒自身も、職能として強くなっていくことは感じている。しかし若い会員に伝わりきれていないことが入会率低下にもつながっているのではないかと懸念していたため、意見しました。今後は、積極的な発信をお願いしたい。

荻谷事務局長より

⇒京都府以外でも協会の入会率低下がかなり問題となっているため、会員であることのメリットがもっともっとわかりやすく感じてもらえるようにしなければならないと考えている。また何か良い意見があればいただきたい。

【第一号、第二号議案について、挙手にて賛成多数 承認】

第三号議案 選挙管理委員の選出

理事会での推薦：中川 朋子先生（洛和会音羽病院）・岡 徹先生（介護老人保健施設がくさい）・鷺見 秀人先生（京都医健専門学校）

【第三号議案について、挙手にて賛成多数 承認】

第二号議案 事業計画報告

麻田会長より事業総括各局の計画報告：①Web 下での事業遂行について ②研修会等基本は参加費無料について ③会員の 75%が京都市内に在籍するため、市内中心の事業であったが、地域局をはじめ対面ではできなかった会議等を Web 化する。地域性に沿った事業推進について ④新しい環境を活かした取り組みについて ⑤新人教育プログラムを現行 22 単位から 2022 年より 105 単位にする準備について ⑥臨床実習指導者講習会の Web 開催について ⑦エスカレーターマナーアップ推進について 7 月 12 日（月）京都市長との対談の予定もあり 完成したポスター提示 ⑧地域局事業 「人材をつなぐ」にての取り組み 支部内の人材をつなぎ推進（支部、多職種、災害 JRAT、公益事業、地域施設運動）⑨連盟との強いつながりについて 職域の声を反映する国会議員が必要である ⑩診療報酬制度の変遷 ⑪日本理学療法士協会代議員総会報告 ⑫職域の拡大 ⑬これからの 5 年今年 9 月衆議員選挙 2022 年：参議員選挙の重要性 2024 年：医療保険、介護保険の同時改正があり、今後 20 年の根幹の決定 2025 年：55 周年記念式典への移行

第三号議案 2021 年度予算案

南角財務理事より P.10 予算案の説明

第四号議案 第五号議案は報告事項

質疑なし

苅谷事務局長より⇒京都府就業フェア開催の件：8月8日（日）ハイブリッド開催
6月20日締め切りであったが、6月30日に延長となっている。

以上、府士会に対して意見、質疑 特になし

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、15時20分閉会した。

関副会長より 閉会の挨拶

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事がこれに記名押印する。

令和3年6月27日

一般社団法人京都府理学療法士会理事会

代表理事 _____

理事 _____

議長 _____